

PRESS RELEASE

創刊100年を超える宗教専門紙 文化時報が、 新WEBメディア「文化時報デジタル」を10月1日に創刊

「読み終わった後に、見えるものが変わる。」新しい読者体験を届けるWEBメディア

株式会社文化時報社（所在地：京都府京都市下京区猪熊通梅小路上ル、代表：小野木康雄）は、2026年10月1日、新WEBメディア「文化時報デジタル」を創刊いたします。正式オープンに先立ち、2026年9月1日にはティザーサイトを公開。正式サイトは、10月1日のオープンに合わせてティザーサイトよりご案内いたします。＜ティザーサイト：<https://bunkajiho.digital/pr>>

▼文化時報デジタル ログ



01 創刊100年を超える文化時報の、新たな挑戦

文化時報は、創刊以来100年以上にわたり、仏教や神道など宗教・宗派を超えた宗教界の動向や、文化や社会に関する情報を新聞という形で発信してきました。

一方で、社会は大きく変化し、情報に触れる手段や、読者が情報に求める価値も変わりつつあります。

情報があふれる時代だからこそ、私たちは「何を知るか」だけでなく、「どう理解し、自分なりに考えるか」が、これからますます大切になると考えています。

そこで文化時報は、紙面で培ってきた信頼を大切にしながら、WEBだからこそ実現できる新しい読者体験を届けるため、新WEBメディア「文化時報デジタル」を開設します。

これまでの紙面による情報発信も継続しながら、紙とWEB、それぞれの特長を活かし、より多様な価値を届けてまいります。

文化時報デジタルが目指すのは、知識や情報を増やすだけではなく、新しい視点や理解と出会い、自分なりに物事を考えるための「ものさし」を育むことです。

“宗教に対する素朴な疑問や悩みを読み解く『宗教の謎解き』”や“宗教者・学者・芸術家らが独自の死生観を語る『A l l a b o u t D E A T H ～「師」が語る「死」』”など、WEBならではの多彩なコンテンツを通じて、一つの出来事をさまざまな角度から見つめ、その背景まで深く理解する機会を届けます。

読者一人ひとりに、「知るだけで、終わらない。」新しい読者体験を提供していきます。

文化時報デジタルでは、宗教を入口に、文化・地域・福祉・教育・経営など、社会につながるさまざまなテーマを発信します。

宗教を専門的に伝えるだけではなく、その背景にある文化や歴史、人々の営み、地域社会とのつながりまで多角的に読み解いていくことが、文化時報デジタルの特徴です。

宗教関係者はもちろん、地域づくりや福祉、教育、組織運営、日本の文化などに関心を持つ幅広い読者に向けて、日々の出来事や社会を、自分なりの視点で考えるきっかけとなる情報を発信していきます。

文化時報は、これまでどおり紙面による情報発信を継続します。

その上で、文化時報デジタルでは、WEB限定の記事や特集に加え、検索・保存機能、紙面ビューア、記事のギフト機能など、デジタルならではの利便性を加えることで、紙とWEB、それぞれの強みを活かした情報発信を行っていきます。

また、SNSなど既存の情報発信との連動を強化するとともに、全国の宗教者に地域ニュースを発信していただく「地域特派員制度」や有識者が独自の視点で文化時報デジタルの記事に自由にコメントできる「プリズムコメント」機能を実装します。他にもイベントなどを通じて、宗教者と一般の方々との新たな接点を生み出し、宗教者との継続的なつながりを育んでいきます。

サービス概要

サービス名：文化時報デジタル

ティザーサイト公開：2026年9月1日 (<https://bunkajiho.digital/pr>)

正式オープン：2026年10月1日 ※正式サイトはティザーサイトよりご案内

▼PC版



▼SP版



※イメージ画面は開発中のものです。

※各機能については順次実装予定です。

※サービス内容は予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

代表コメント

文化時報はこれまで、「時代の半歩先」を見つめながら、宗教界と社会をつなぐことを大切にしてきました。災害や医療、福祉、教育、地域、そして日々の暮らし。私たちの身近なところには、宗教とつながるさまざまな出来事があります。情報があふれる今だからこそ、ただ出来事を伝えるだけではなく、その背景にあるものまで丁寧に掘り下げ、一人ひとりが自分なりに考えるための「ものさし」を届けていく。それが、これからの文化時報の役割だと考えています。

文化時報デジタルは、そのための新しい挑戦です。

紙面で大切にしてきたものを受け継ぎながら、WEBだからこそ届けられる情報や、多様な視点を加え、宗教を入口に、社会や暮らしをもっと広く、深く見つめていく。そして、宗教界の方々だけでなく、これまで宗教にあまり接点のなかった方にも、自分の暮らしや生き方について考えるきっかけと出会っていただける。そんなメディアに育てていきたいと思っています。

文化時報は、100年を超えて、次の時代へ。

これからも「時代の半歩先」を見つめながら、社会と宗教をつなぐ挑戦を続けてまいります。

文化時報社について

宗教専門紙「文化時報」では、特定の宗教・宗派にとらわれず、神社やお寺、教団関連など、全国の宗教に関する多彩な情報を発信しています。

神社仏閣や教団そのものの情報を掲載するだけでなく、宗教教団・宗教者が手がける医療・福祉や学校教育、関連業者などの動向も取り上げています。

会社概要

会社名：株式会社文化時報社

本社所在地：〒600-8243 京都府京都市下京区猪熊通梅小路上る南夷町170

代表取締役：小野木 康雄

設立：1923（大正12）年

事業内容：宗教専門紙「文化時報」の発行

HP：<https://bunkajiho.co.jp/>

報道関係の方からのお問い合わせ先

株式会社文化時報社

担当者名：大橋(オオハシ)・今野(コンノ)

電話番号：075-371-0159（受付時間10時～17時）

メールアドレス：info.digital@bunkajiho.co.jp

問い合わせフォーム：<https://bunkajiho.co.jp/contact.html>
